

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンターこてはし台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① 元気会（鷹の台） ② 健康寿命延伸プロジェクト（鷹の台） ③ つどい喫茶（こてはし台）	① ②鷹の台自治会 通算7回 社協花見川区事務所、健康課、花見川いきいきプラザと共に65歳以上の方を対象に高齢者の健康の増進（フレイル予防）に関する周知等行った。 4、5月 認知症サポーター養成講座 10月 悪徳商法の講座を行った。 ③つどい喫茶（こてはし台）通算8回 6月から再開（3年間コロナで休止） 出張相談も兼ねており相談者に対しての相談を行った。	◎
(2)	交流の場づくり	・カフェ（多世代交流・認知症カフェ等）	① ふらっと横戸台 センター参加6回 カフェ参加者に対しての相談（介護等）を行い早期の対応が行えた。 ② ○○カフェ（マルマルカフェ）通算5回 ・当事者の方がやりたい事・かなえたい事を一緒にやり、ホッとできる時間を一緒に過ごす。 ・地域の人達が気軽に集い、認知症の人など、家族の悩みを共有し合いながら、専門職に相談もできる場所を目指し運営を行った。	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・地域ケア会議	①横戸町（鷹の台）前期2回 後期2回 計4回開催。 地域の見守り強化、支援が必要な方への早期支援が行える体制構築を行った。地域ケア会議から（7）-②へ繋がり、「歩いてビンゴ」活動を行った。 ②こてはし台地域ケア会議 前期1回 後期1回 計2回 地域ケア会議から（2）-②へ繋がり○○カフェを行った。 こてはし台での関係機関と共同しオープンスペース活用し多世代交流等発展の場となる。	◎

(4)	地域の機関・団体等との連携	・206、211 地区民児協定例会参加	・206、211 地区：5月にあんしんケアセンターの実績報告、高齢者の課題についての共有を図った。 ・206 地区：8月 研修会（簡単な介護 講師：千葉市家族介護者支援センター）を行った。 ・民生委員児童委員の実態調査後の連絡等、日頃から連携を図ることができた。	○
-----	---------------	---------------------	---	---

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・第1層 第2層生活支援コーディネーターと連携	・第2層生活支援コーディネーターを中心に地域のサロン、サークル活動等と連携を図り、講義等の依頼があった。 ジョイクラブむつみ、内山自治会、シニア横戸台、ふらっと横戸台、新鷹の台第二（おしゃべりサロン）計5カ所において、あんしんケアセンター、生活支援コーディネーターが介護保険制度について講義を行った。	○
(6)	地域福祉情報の発信	・広報誌の作成	・あんしんケアセンター前掲示板の掲示や各圏域サロン（出張相談含む）等で配布し発信を行った。 ・法人のブログ（不定期）を使用し、センター活動を掲載し運用を行った。	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	① 認知症サポーター養成講座 ② 歩いてビンゴ（柏井地区子ども会育成連絡会）	① 鷹の台（4、5月） 柏井高校（10月）こてはし台小学校（2月） 計4回開催。 若年層から高齢者へ認知症普及啓発等の活動を行えた。 ② (3)-① 地域ケア会議から発展し認知症啓発活動で子供会と共催。121名の方が参加した。 内容：QRコードの問題（認知症の声掛け問題）を読み取りし、認知症役に声をかける。	◎

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・消費者被害防止啓蒙活動	<p>・消費者被害防止についてあんしんケアセンター前掲示板で掲示し注意喚起等を行った。</p> <p>・6月ほのぼの会（新鷹の台第2）10月元気会（鷹の台）にて悪徳商法の講座を開催し注意喚起を行った。参加者からは、誰もが身近におこりうる事であり、どのように対応したら良いか等、とても良く理解でたと感想を得られた。</p> <p>内容：「悪質商法の手口と対処法」消費者生活センターへ依頼し講演していただいた。</p>	◎
(9)	身近な災害への備え	BCP（事業継続計画）作成	・平常時、緊急時に事業の継続が行えるようBCPの作成を行った。今後も、都度BCP内容の見直しを行っていく。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 （上記項目の総括）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動が再開した事で、生活支援コーディネーターがサロン等に参加し地域とのつながりが増えた。また、講座等の依頼が増え、あんしんケアセンターの周知など行えた。 ・地域ケア会議から発展し子ども会との共催や〇〇カフェを定期開催する事ができ、認知症普及啓発活動も計画的に行えた。
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議等を活用し自治会、民生委員児童委員など関係機関と連携し、支援が必要な高齢者に対し早期に支援が行える体制を強化、地域課題を把握して、地域づくり・資源開発に向けて取り組みを行う。 ・生活支援コーディネーターと連携し介護予防の取り組みや自治会等で開催している通いの場等への支援を行う。
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、人口が減少し高齢化率が下がっている地域、これから後期高齢者が増え高齢化率が上がる地域もあると予測される。 各地域組織で行っているボランティアや見守り活動の支援者も高齢化が進んでおり今後の支援体制、社会資源不足の不安がある。生活支援コーディネーターと連携し地域づくり・資源開発に向けて取り組みを行う。 また、複合的な問題（8050問題、生活困窮者、身寄りがいない等）を抱えた相談が増加傾向であり他機関と連携を図り早期に支援が行える体制を構築する。
令和5年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンター花見川

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン ○長作地区（地蔵作）にて12回参加 ○花見川団地（住宅自治会）にて2回参加 ・高齢者サークル ○柏井地区にて2回参加 ○花島地区にて3回参加 ・高齢者を対象として、センターのオリジナル広報紙を配布し、介護予防等の情報提供や相談毎にその場で対応した。食中毒や熱中症、防災などの説明を聞いた高齢者から参考になる等の感想を頂く ・介護予防体操教室 ○花見川地区シニアリーダーに12回参加 ○長作台新台地区シニアリーダーに10回実施 ○長作シニアリーダーに12回参加 ・シニアリーダー後方支援にて継続的運営をサポートし、フレイル予防や周知、高齢者自身が参加できる体操や健康講座健康サロンを開催。また、長作、作新台地区シニアリーダーは昨年度より打ち合わせを進め今年5月に立ち上げ、開始された。皆取り組みを続け、メンバーも変わらずに継続出来ている事からフレイル予防や介護予防に繋がっている。 ・介護予防普及啓発活動 ○花見川団地にて健康サロン4回実施 6月：歩行測定会と福祉用具展示 9月：ご自身の足のサイズを知ろう！セニアカー体験と福祉用具展示 11月：血管年齢 ベジチェック測定（推定野菜摂取量） 3月：健康サロンの一環と併せて「まんだりいなカフェ」を開催 ※コロナ感染症渦で活動を中止していた認知症カフェを再開。次年度は定期開催に向けて取り組みを継続 ○握力測定会を2回実施（4月、9月） ・健康サロンで参加者のなかには団地外の方もおられ、参加者の住まれている地域でも是非開催してほしいと要望が上がる。 	○

			<p>○花見川団地と長作地区の高齢者の集まりにて「介護予防や介護保険制度や地域包括支援センターの理解促進のための講演会を行った（４回）</p> <p>・講演会では、あんしんの役割や仕事にて何をしている所？と思われる高齢者が多く、参加者からオレオレ詐欺に注意、認知症でも自宅で住み続ける、みんなのサポート含めた地域社会などわかりやすいキーワードを用いて説明してもらい理解しやすかったと感想を得られた。</p>	
(2)	交流の場づくり	・ワークショップ	<p>・花見川団地の未来を考えるワークショップに 10 回参加し、地域を盛り上げたいと望まれている関係者と話し合う。街づくりに地域のクリエイターや学生らが参加されており、商店街休憩スペースを助成金の使用にて改修、駄菓子屋オープンに向けて進め、地域の元気な高齢者がボランティアで運営できるように第2層生活支援コーディネーターが現在参加者のマッチングを行っている。その他、あんしんでも健康サロンを開催し高齢者向けコンテンツを提供している（結果等は①参照）</p> <p>コロナ禍で活動停止をしていた認知症カフェを3月に再開、その他のカフェでは団地内に高齢者・子供のカフェがあり、そちらの方へは6回参加。</p> <p>認知症カフェを圏域内で開催してほしいと要望もある為定期開催を今後の課題として進める。</p>	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・ 地域ケア会議	花見川地域ケア会議の開催（6月・9月・12月・3月） 地域課題で、高齢者、引き籠りの子、生活困窮、外国人の生活様式から来る諸問題があり、今年度から障害者基幹相談支援センター、生活自立・仕事相談センターにも参加を依頼。地域関係者が困った際の専門の相談窓口となる。その他地域の介護事業所からも地域との関係を築きたい、地域貢献を考えたいと相談を受け、グループホーム事業所が参加されるようになる。他では事例を通じて地域課題を検討（8050問題、生活困窮）し、地域で出来る事等を確認したほか、ゴミ出し支援での話では、賃貸側にはJ Sサービス（UR）や互助組織があるが、分譲側にはそのようなサービスがなく、現在あんしんと自治会と課題解決に向けて地域特性を踏まえて検討を進めている。	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	・ 地区民児協 定例会参加	・ 圏域の民児協定例会へ年 12 回参加し、地域の相談状況・傾向等、都度実績を基に説明、民生委員からの質問や相談に回答し理解促進を図った	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	①第1層・2層生活支援コーディネーターとの連携 ②地域密着型サービス運営会議	①コロナで活動停止されていたサロンや、まだ参加したことが無かったサロン等の情報を2層生活支援コーディネーターと共有し作新台地区のサロンへ1件参加した。支援者が元民生委員、現民生委員3名で運営されおりサロンの実施状況等の把握を行った。またグループホームより地域貢献活動の相談を受け、パンの移動販売、敷地内でのガーデニングを開放し、地域住民も利用できるようになった。 ②運営会議に11回参加（グループホーム、デイサービス含め） 事業所の課題で、地域住民との関りが持ちにくい等の相談を受け、民生委員と連携し、事業所側と住民を交流できる環境をどうするか進めている	○

(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 ・広報誌の作成 	<p>○出張相談会は、サロンやサークル活動に参加時（回数については（1）の実績のとおり）に都度、支援が必要な方への早期対応につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を地域サロンや体操教室参加時に配布、関係各所へ配布 ・11月21日に障害基幹、生活自立と花見川団地集会場にて3事業合同相談会を開催。初の試みの中4組の相談があった。あんしんは団地の中心にセンターを構えているが、障害者基幹相談支援センターは畑町、生活自立・仕事相談センターは保健福祉センターでそれぞれ運営されている。相談会を行う事により、出向かなくてもよい事が住民へ周知されれば相談は増えると考えて今後も取り組みを継続していく方向とし3月にも開催した。 	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・認知症キッズサポーター養成講座 ・ニモ包括推進 	<p>○キッズ認知症サポーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月花見川小学校 小学生66名（小4、5、6年） ・11月作新小学校 小学生50名実施。（小4年） <p>アンケートで「自分たちにも出来る事があった事を知った」や「認知症がそんなに大変な病気であったとは思わなかった」「認知症の方の役に立てればと思う」等の感想を聞いた。</p> <p>精神障害者の地域生活支援を推進するための取り組みに積極的に参加し地域へ啓蒙活動を進めて行くために10月に「千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議」花見川区市民向け普及啓発活動を花見川団地集会場にて講演会をハイブリット方式で実施した。参集とオンラインで50名ほど参加され、精神疾患の事や地域で支援されている看護師からの話をして頂いた。</p> <p>花見川団地には精神疾患を患っている方も少なくはない為、地域で支援する際に気をつける事等含めて学べたという意見を多く頂いた。</p>	○

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	・消費者被害防止啓蒙活動	<p>○注意喚起を促すため消費生活センターへ出向き、地域で確認できている詐欺等を把握しサロンや講演会等でも促した。</p> <p>○移動交番が花見川団地へ来た際にも上記同様に警察官から情報を頂き、高齢者への注意喚起を行った。</p> <p>○センター前掲示板を活用したり、ラジオ体操やサロン参加時に上記の情報も含めて詐欺被害防止の注意喚起を行った。</p>	○
(9)	身近な災害への備え	<p>・合同避難訓練</p> <p>・BCP 計画作成</p>	<p>○11月に作新台地区、長作台地区で防災訓練があったが、参加できなかった。</p> <p>○感染症や自然災害が発生した場合でも、業務を中断させないように、優先業務を実施するため、あらかじめ方針、体制、手順等を示した計画を作成する BCP 計画は作成中の段階。</p>	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 (上記項目の総括)	概ね実行はできている。この後も引き続き取り組みを継続していくが、特に基本方針4の項目は重点的に取り組んでいく。
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、地域支援者等と共にイベント等の参画 ・地域で集まれる場所の拠点づくりの推進と継続運営
今後の課題と方針	<p>やはり地域住民同士の関係性の希薄化を感じている事から、地域支援者と共にイベント等を開催し、住民通しの関係性構築や協力体制構築の促進を図りたい事と今は漠然と考えている。</p> <p>「ひとりにしない・取り残されない」街づくりの推進を図りたく、地域で集まれる拠点をテーマは何でもよく、地域住民主体と共同して一つでも多く立ち上げ、継続して運営できるように実行していく。</p>
令和5年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンターさつきが丘

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・出張介護予防教室 ・喫茶、サロンの運営協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・犢橋公民館において、地域の高齢者を対象とした出張介護予防教室を開催した。現時点において、通算9回の開催で延べ21名が参加した。フレイル予防を目的とした体操と脳トレに加え、奇数月には花見川いきいきプラザの協力を得てポッチャ体験と脳トレを行った。参加者より、ここに来る他の参加者と会話することが楽しみとの感想が聞かれた。なお、参加者数は減少が続き、活動継続が困難になったため、犢橋公民館における出張介護予防教室は今年度で終了となる。 ・計6件の喫茶、サロンにて、参加者の傾聴対応と地域内のイベントやボランティア事業など、地域福祉の情報発信を行った。また、主催者から運営に関する相談を受け、適宜情報提供や助言を行った。 	△
(2)	交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの運営協力 ・グループホームと地域住民の橋渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアラズカフェ（ここカフェ）において、傾聴対応や地域福祉の情報発信の他、グループホームとの関係構築を行った。現時点において、通算10回の開催で延べ99名が参加した。また、当事業所より繋いだ傾聴ボランティアの2名とは関係構築を継続している。 ・ガーデンコート千葉さつきが丘の管理者より、グループホームのスペースを活用して地域住民との交流を図りたいとの相談を受けたため、生活支援コーディネーターと連携し、地域住民が花壇ボランティアなどを通じて気軽に集えるような交流の場づくりに取り組む。延べ4名の地域住民が訪れ、花壇ボランティアを通じて交流を図ることに対し、役割の一旦を担った。 	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	・ 地域ケア会議	・ 9/19（火）に独居で身寄りのない認知症高齢者への支援について、地域住民と行政機関を招いて会議を開催し、延べ9名が出席した。対象者の支援について、役割分担を行うことができた。また、今年度の重点的活動地域としている千種町自治会について、自治会長と会議内容について協議した。会議当日は独居高齢者の増加と見守り体制について話し合う方向となり、今年度中に会議を開催予定である。出席者は十数名を予定している。	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	・ 地区民児協定例会への参加 ・ 地区部会の委員会会議に参加	・ 5/13（土）に205地区、5/15（月）に214地区の民児協に出席し、前年度の当事業所における総合相談内容の内訳をした資料の配布と地域課題に対するアンケートを行った。 ・ ケアラーズカフェ（ここカフェ）については、カフェ終了後の反省会に毎回参加し、関係者との意見交換を行った他、その後に開催される高齢者福祉委員会の会合にも参加した。また、シニアリーダー体操教室（5ヶ所）については、教室終了後と連絡会にてシニアリーダーとの意見交換を行った。	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性	取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況	
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス運営会議 ・ 徘徊高齢者声掛け訓練 ・ シニアリーダー養成講座の周知 ・ 地域の担い手との関係構築 ・ 地域住民の強みを活かした役割支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席依頼のあった圏域内の地域密着型サービスの運営推進会議に出席し、福祉サービスの質の向上等について意見交換を行った。出席依頼のあった事業所数は9ヶ所で都合のつかなかった1回を除き、通算23回の会議に出席した。 ・ 12/16(土)にあんしんケアセンターこてはし台と協働し、花見川いきいきプラザのクリスマスイベントにおいて、認知症高齢者声掛け訓練を行った。参加者は約150名であった。 ・ 2ヶ所の民児協にてシニアリーダー養成講座の周知を行った他、通いの場、交流の場にて、チラシ配布や事業所前にチラシを張り出す等の周知活動を行った。 ・ シニアリーダー体操教室のシニアリーダーより、体操教室の運営方法と担い手間の対人トラブルについて相談を1件受け、体制の見直しと関係構築を目的にミーティングを企画した。 ・ 老人クラブより、マンネリ化しつつある活動内容について相談を1件受け、当方が把握している出張講座等の情報を提供し、その後の橋渡しも行った。 ・ 通いの場、交流の場の主催者(計2件)より、活動内容について相談を受ける。当事業所が把握している出張講座や企業による出張教室の情報を提供し、その後の橋渡しも行った。企業の出張教室については2/16(金)に開催した。 ・ 当事業所のケアマネジャーが担当している利用者について、利用者の強み(趣味や特技など)を活かし、地域貢献ができる方法を一緒に模索した。結果、計3名の地域住民が自身の強みを活かし、ボランティアなどの地域貢献を行った。 	○

(6)	地域福祉情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 ・通いの場を訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川いきいきプラザとさつきが丘いきいきセンターにて各2回ずつ開催された健康フェスティバルに参加し、基本チェックリストの実施といきいき活動手帳の配布を行う等を行い、参加者の生活相談を行った。なお、2ヶ所の健康フェスティバル参加者の内訳について、花見川いきいきプラザは延べ113名、さつきが丘いきいきセンターは延べ63名であった。また、花見川いきいきプラザにて偶数月の1回、生活相談会を開催し、現時点で通算5回の開催で述べ29名が参加した。また、さつきが丘いきいきセンターにて12/19(火)に出張相談会を開催し、1名の相談があった。参加者より、あんしんケアセンターがあるのは心強い等の言葉が聞かれた。 ・通いの場24団体へ訪問し(うち、継続訪問は17団体)、参加されている地域住民に対して、健康講座の情報や地域内のイベント等の介護予防に関するチラシの配布と説明を行った。また、活動状況の把握に努め、地域福祉の情報を必要とされている地域住民に対し、適宜情報提供を行った。 	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座 ・認知症サポーター養成講座 ・終活講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸団体3ヶ所より出張講座の依頼があり、講師を務めた。通算3回の開催で参加者は延べ63名が参加した。また、アンケートの結果より、講座に対しての好評をいただいた。 ・キッズ認知症サポーター養成講座1ヶ所を含む計4ヶ所で認知症サポーター養成講座を開催した。参加者は延べ100名であった。また、アンケートの結果より、認知症への理解ができた、認知症の方でやさしく接したい、サポーターとして何かをしたい等の意見をいただくことができた。 ・9/1(金)に明治安田生命との共催にて終活講座と健康測定会を行った。参加者は12名であった。参加者より、大変参考になった、今から終活を始めます等の感想が聞かれた。 	○

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話 de 詐欺出張講座の紹介 ・ 消費者被害注意報のチラシ配布 ・ 消費者被害勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ヶ所の民児協にて、千葉市地域安全課による電話 de 詐欺出張講座を紹介し、開催希望についてアンケートを実施した。結果、1団体から開催希望があり、情報提供と橋渡しを行った。 ・ 通いの場7団体へ訪問し、参加されている地域住民に対して消費者被害注意報の配付と説明を行った。配布したチラシは計135部であった。 ・ 1/22(月)に事業所内の全職員出席にて、消費者被害に関する勉強会を行った。また、講師は管理者が務めた。 	○
(9)	身近な災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時訓練 ・ 安否確認 ・ BCPの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の事業所内の会議時に非常用自家発電機と防災ラジオの試運転を行った。また、災害対策としてヘルメットを購入した。 ・ 事業所作成の安否確認リストに掲載されている高齢者に対し自宅訪問や電話にて安否確認を行った。 ・ 感染症や自然災害は発生した場合に備えて、方針、体制、手順等を示した計画を作成した。 	△

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 (上記項目の総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定していた事業計画をほぼ実施することができた。特に地域の諸団体活動に対しての運営協力する機会が多かった。 ・ 事業所主催の犢橋公民館出張介護教室について、多種多様な手段で周知を試みたが、参加者数が伸び悩んだ。次年度は教室の開催を中止とする。 ・ 出張講座や認知症サポーター養成講座を合わせて7回開催することができた。今後も多くの講座依頼が受けられるよう、今以上に周知活動を行う必要がある。
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに事業所主催にて、定期的な開催が見込める地域資源を発掘していく。具体的にはさつきが丘公民館にて出張介護予防教室を開催していきたい。 ・ あんしんケアセンターの認知度が低い地域に対し、周知活動を行う。また、地域の諸団体を含めた多職種との顔の見える関係づくりを行う ・ 地区部会単位での活動継続は勿論だが、町内自治会単位での活動にも力を入れていく。次年度は宮野木台3丁目を重点的活動地域とする。 ・ 高齢者だけでなく、多世代間の交流を目標として、各種関係機関と連携して地域ケア会議を開催する。
今後の課題と方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張介護予防教室や出張相談会について、参加者数に伸び悩んだこともあるため、出張介護予防教室については開催場所の変更、出張相談会については、依頼元と話し合っって参加者が増えるよう、打開策を検討していく。 ・ 地域諸団体の活動について、新たな担い手の確保が難しくなっており、地域ケア会議の開催にて課題についての話し合いの場を設ける。
令和5年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンターにれの木台

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	① にれの木台 ラジオ体操 ② 西小中台 健康教室 ③ にれの木台 健康教室 ④ スマホ教室 ⑤ 地域の活動の場の掲示 ⑥ 糸掛け曼荼羅飾りの作成	① 4月～1月 延参加者数 3343名 月延平均 334.3名 月～金の朝9時から事務所前アーケードでラジオ体操第1を2回実施。その後手指や肩甲骨、股関節を動かす運動を行っている。参加者が増えている。体操後自宅に帰る際には参加者同士で話をしながら帰り、良い交流の場となっている。 ② 毎月開催（8月はお休み）延参加者数 97名 ③ 毎月開催（8月はお休み）延参加者数 119名 ②、③は毎月開催し、月ごとに体操や講話を開催。毎回参加している方や、月のイベント内容により参加される方と様々。健康測定や音楽演奏会などは参加希望が多い。今年度はクリスマス会の音楽会に圏域内のGHの方に声をかけ2事業所のご参加があった。 ④ 毎月1回開催 延参加者数 28名 12月からは開催できていないが、希望者も多いため、今後も携帯業者さんに相談して継続できるようにしたい。スマホの基本的な使用方法や、写真の撮り方、LINE、QRコードの読み取りやグーグルマップ、スーパーのポイント付与など楽しく利用ができるようになっている。 ⑤ 圏域内のシニアリーダー体操やお散歩倶楽部、認知症カフェなどの情報を掲示し、情報を発信した。 ⑥ 住民の方が自身の趣味を地域の方に教えるための呼びかけや場所の提供を行った。	◎
(2)	交流の場づくり	ホットスペース 畑	認知症に関する相談者に認知症カフェ・ホットスペース畑のチラシを配布した。毎月のカフェ開催時に参加し、運営のサポートを行った。開催者からの相談にアドバイスを行った。	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	① 民生委員との情報共有 ② 自治会や管理事務所との情報共有 ③ 地域ケア会議	① 民児協の定例会に毎月参加。 民生委員や児童委員と地域の情報を共有し対応した。 ② ・朝日ヶ丘3丁目「ビレジ助け合いの会」に参加し高齢者および要支援者の支援についての講話を実施した。東部自治会のゴミ出し支援対象者の情報提供。 ・「おせっかい」へのお誘いと参加。 ③ 個別地域ケア会議を開催し、障害を持つ家族への対応について高齢障害支援課や障害者基幹支援センター、生活自立・仕事相談センター、民生委員さんや関係事業者さんと安全な生活を送るための話し合いを行った。	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	① 地区民・児協定例会に参加 ② 自治会と連携 ③ UR、シニアリーダーとの連携	① 203 地区民児協からの依頼を受け介護保険についての講話や健康チェックを行った。 ② 西小中台地区、東部自治会の敬老会に参加し、あんしんケアセンターの周知や介護予防についての講話や体操を実施した。 ③ UR と連携し UR 見守りサービスやあんしんケアセンターの役割、シニアリーダー体操の周知や福祉用具の活用についてなど、UR 居住者に向けてイベントを実施した。	○

≪基本方針3≫ 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	① 地域密着型運営推進会議 ② ボランティア活動 ③ 第1層生活支援コーディネーターとの連携	① 地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参加し福祉サービスの質の向上を図るための助言を行った。 圏域内6事業所 書面開催2回 参加21回 ② 地域の方に、趣味や特技を募集し健康教室で講師となって活躍して頂いた。 (ヨガ2名、指ヨガ1名 マジック1名手芸1名) 認知症ステップアップ講座受講者にボランティア参加へのお誘いをした。 ③ 第1層生活支援コーディネーターと連携し、集いの場の情報共有を行った。	○
(6)	地域福祉情報の発信	① 出張相談所 ② イベント開催の掲示 ③ 広報誌の作成	① にれの木台事務所から距離のある西小中台で毎月出張相談を開催している。 ② 生活支援コーディネーターと連携し新しい情報を相談者やイベントで発信した。また事業所に掲示し情報をお伝えした。 ③ 4回/年 広報誌を作成	○
(7)	学習の場や体験の場の創出	① 出張講座 ② キッズ認知症サポーター養成講座	① 地区部会で介護保険制度や介護予防、健診の必要性の講話を行った。 朝日ヶ丘公民館で高齢者に多い疾患と予防についての講話を実施。 ② 畑小学校5年生41名 にキッズ認知症サポーター養成講座を開催予定	○

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺防止の啓蒙活動	にれの木台ラジオ体操や健康教室、圏域内シニアリーダー体操などの集いの場で特殊詐欺や消費者被害の情報提供をし、注意喚起を行った。 高齢者世帯や独居の方へナンバーディスプレイや留守番機能の利用を推奨している。 民生委員さんとの情報共有。	○
(9)	身近な災害への備え	BPC 計画の作成	定期的に防災グッズの点検、確認を行った。 防災マップの確認を所内で定期的に行った。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 (上記項目の総括)	<p>概ね予定していた活動は出来た。</p> <p>月～金のにれの木台ラジオ体操は参加人数が増加。介護予防に関する意識付けが出来てきている。毎月実施している健康教室やスマホ教室も定着してきているため今後も継続していきたい。地域ケア会議や認知症サポーター養成講座などの開催が少なかったため次年度に開催できるようにしたい。</p>
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんしんケアセンターの周知活動の継続。特に畑地区へ向けて周知活動や出張相談所の開催をしていきたい。自治会や地区部会と連携を強化し既存の集まりの中であんしんケアセンターの役割や介護予防の必要性等お伝えしていきたい。 ・ 現在実施している集いの場の継続。 ・ 圏域内の集いの場の情報収集を行い、参加者の声を聴いていきたい。 ・ 地域ケア会議や認知症サポーター養成講座の開催をする。
今後の課題と方針	<p>高齢化率は40%を超える地域もあり、今後ますます介護保険サービス以外の地域での支え合い活動が必要となっている。担い手不足が問題になっている中で、担い手の発掘も重要な課題となっている。</p> <p>畑地区は、高齢化率はそれほど高くはないが、介護保険の認定率が高く、また要介護者数も他の地区に比べ多いことから、重度化してからの申請が多いのではないかと予測できる。元気なうちから介護予防に取り組むことで健康を維持し、住み慣れた地域で住み続けることが出来るように、介護予防の普及啓発や制度の利用についてなど周知していく必要がある。民生委員や自治会などの関係機関と連携し進めていきたい。</p>
令和5年度の達成状況の自己評価	<p>◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）</p> <p>○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）</p> <p>△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）</p> <p>×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）</p>

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンター花園

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	地域サロン	・地域サロン再開に向けて、打ち合わせし準備を行っている。	△
(2)	交流の場づくり	認知症カフェ 子ども食堂	・花園みんなのカフェ TOMO にて、SC（生活支援コーディネーター）が主にイベントに参加をしている。	○

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	・朝日ヶ丘4丁目の民生委員へ依頼し、地域の方へのアンケートを実施。地域のニーズの情報収集を行い、民生委員との連携を図り、地域の求めていることについて話し合うことができた。 ・朝日ヶ丘自治会との連携について話し合う機会を持つことができた。	◎
(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議 敬老会	・花園幕張圏域・花見川区全域の多職種連携会議を開催。 ・担当圏域全域（201地区、202地区）の民児協、花園地区の敬老会に参加した。 ・朝日ヶ丘自治会の理事会にて、あんしんケアセンター花園の活動内容と連携についてお話する機会を持った。	◎

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	・シニアリーダー体操 ・ボランティアの発掘	・検見川5丁目自治会館でのシニアリーダー体操の定期開催。 ・50代男性のデイサービスにて麻雀ボランティア（週2回）の活動支援を行った。	○
(6)	地域福祉情報の発信	花園だより 移動販売車	5月、11月、1月に発行している。 移動販売車の圏域内導入に伴い、販売拠点の地図を作成し積極的に周知を行った。	◎

(7)	学習の場や 体験の場の 創出	出張講座 認知症サポ ーター養成講座	認知症サポーター養成講座開催（3回） キッズサポーター養成開催（1回）	◎
-----	----------------------	--------------------------	--	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成 状況
(8)	継続的な防 犯活動への 取り組み	高齢者の権利 擁護の防止 消費者被害の 防止と早期発 見	花園だよりをシニアリーダー体操、自治活動組織で配 付し、消費者被害の周知を行った。	○
(9)	身近な災害 への備え	非常時訓練 BCP 作成	・毎月1回は発電機を発動させ、緊急時に対応できる よう確認を行っている。 ・BCPを作成している。定期的な見直しを行う。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 （上記項目の総 括）	対面での活動が増え、地域へ出向く機会も増えている。コロナ前に比べると活動は少ない状況であるが、徐々に地域の民生委員との連携に向けて、交流の機会が持てるようになった。
令和6年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会、民生委員との連携を深め、地域の活動に参加し、地域ニーズを把握する。 ・希望に応じて情報提供できるように地域資源を把握準備しておく。 ・広報誌（花園だより）の発信を季節ごとに行う。
今後の課題と方針	地域の交流の場、地域サロンの場が少ないと感じている。地域の情報を集め、居場所づくりを支援する。
令和5年度の達成 状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上）
	○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満）
	△：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満）
	×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）

第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況・実績報告（令和5年度）
あんしんケアセンター幕張

《基本方針1》 心身の健康と交流の場づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(1)	居場所・仲間づくり	たんぽぽ広場	たんぽぽ広場は、月1回開催した。花壇づくりや公園内の環境整備作業を通して、近隣住民や保育園児との交流機会にもなっている。	○
		ふみこさん家	ふみこさん家は、月2回開催した。運営役員が計画的に催しを企画し、初めてでも参加しやすい環境になるよう配慮している。	◎
(2)	交流の場づくり	たんぽぽ広場 ふみこさん家	両活動ともに、花壇づくりや活動企画について、運営役員間で随時振り返りと発案を繰り返しながら活動継続している。新たな参加者には、作業工程や目的を丁寧に説明し、活動参加しやすい空間を創るよう心がけた。「また来ます」の声を複数いただいている。	◎

《基本方針2》 支え合い、助け合いのできる地域づくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(3)	地域での支援体制構築	地域ケア会議	個別課題を2回、地域課題を2回会議開催した。地域自治・活動の代表者と懇談するにあたり、気がかりな住民に関する相談や活動継続に関する考案をともに協議する場になった。	○
(4)	地域の機関・団体等との連携	多職種連携会議	花園圏域との協同で1回開催、花見川区全体で1回開催した。医療職、介護職、行政職が救急車要請をテーマにワークし、相互の役割理解の促進と連携の在り方について模索する機会になった。	○

《基本方針3》 地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(5)	地域の幅広い人材の発掘・育成	プレーパーク打合せ	月1回、プレーパーク運営者との懇談を開催した。公園マルシェや文化祭へ参加することはできたが、活動者の確保とマッチングには至らず、高齢者の新たな活動の場としての設定はできなかった。	△
(6)	地域福祉情報の発信	広報紙発行	年6回、偶数月に定期発行した。センターの周知を兼ねて、時事に合わせた福祉情報や注意喚起の記事を掲載し、掲載内容を機に問い合わせや相談につながるケースもあった。	◎

(7)	学習の場や体験の場の創出	出張講座 認知症サポーター養成講座	老人会等で出張講座を2回開催、スポーツジムにて認知症サポーター養成講座を1回開催した。加齢に伴う心身機能の変化や、その変化に気づいた時のかかわり方・相談先について情報提供し、受講者自身のセルフケアと知識習得の機会になった。	○
-----	--------------	----------------------	---	---

《基本方針4》 安全・安心なまちづくり

取り組みの方向性		取り組み事項	具体的な取り組み内容と実績	達成状況
(8)	継続的な防犯活動への取り組み	消費者被害、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起	千葉県警察署や千葉市作成のチラシを相談者へ配布したり、センターの屋外掲示板に貼付した。懇談や会議などで、被害事例の紹介や予防対策の情報提供を行ったが、被害を防げなかった方も存在した。	△
(9)	身近な災害への備え	非常時訓練	携帯発電機の操作確認と試運転を月1回実施した。当センターがプラン作成を担当している利用者の安否確認リストを年2回見直した。ハザードマップと重ねて、非常時の連絡先や確認手順の訓練を行った。	○

※ 該当する取り組みについて記載してください。

令和5年度の実績 (上記項目の総括)	基本方針1、2については、計画通りに実施できた。特に基本方針1の活動は注力して取り組んだ。専門職による特別に管理された空間ではなく、地域の中に日常の空間として存在する場を確保していくことを目指した。基本方針4については、個人情報やプライバシーへの配慮等に取り組み課題を感じる場面も多かった。
令和6年度の目標	居場所づくりは今年度開始したこともあり、運営役員の活動をセンター職員が支援している。継続的な運営と活動の維持のためにも、運営委員の育成を意識した支援と取り組みの呼びかけを行う。 基本方針1、2については、注力して取り組むことを継続する。合わせて、運営役員の育成と後継を意識しながら基本方針3の活動を実践していく。
今後の課題と方針	防犯活動や災害の備えについては、個別性の強い内容も多い。地域活動として取り組むことのできる内容と、防犯・防災意識の普及啓発について、被害集中地域やハザードマップ該当地域を中心に呼びかけを継続する。
令和5年度の達成状況の自己評価	◎：年度目標以上のものが達成出来た場合（達成率100%以上） ○：年度目標が概ね達成できた場合（達成率50%以上100%未満） △：年度目標の一部が達成できた場合（達成率10%以上50%未満） ×：年度目標が達成できなかった、またはほとんど達成できなかった場合（目標に対する達成率が10%未満）